加古川市立平岡東小学校　学校だより

East

【学校教育目標】

自ら学び共に伸びる子の育成

No.５　　2026年９月１日

少しずつ　ほんの少しずつ

昔、お笑いコンビがリズムに乗って次々と武勇伝を披露していくというネタがありました。その中の１つに、１日に３mmずつバス停をずらし、２年を費やして自宅の前に持ってくるという武勇伝があります。確かに、１日に３mmなら誰にも気づかれずに移動できるかもと思いつつ、ずらしたのが２mちょっと（３mm×７３０日＝２m１９cm）なら、ずらさなくても自宅の前ではないかと思ったものです。

忍者の修行には、１日に３cmずつ成長する麻の苗木を毎日飛び越えるという訓練があります。１日目は３cm、２日目は６cm、とだんだん高くなって、３～４か月で３mもジャンプできるようになるというものです。やってみようと思われる方は、まずは麻の苗木の入手先と植える場所の確保からご検討下さい。１日に６cmずつ日本に近づいているものもあります。ハワイです。プレート運動により大陸が移動しているためです。ハワイには行きたいけど長時間飛行機に乗るのは避けたい、という人には朗報ですね。淡路島に行く感覚でハワイに行ける日が来るかも知れません。８０００万年後の話ですが…。

夏休みが終わりました。個人的にはハワイではなく、この夏はスペインに行きたかったです。ワールドカップの優勝国だからでも、サグラダファミリアのメインタワーが完成したからでもありません。皆既日食があったからです。２００９年には日食を見にわざわざ中国まで行きましたが、曇り空でした。２０１２年には日本で見ることができましたが、金環日食でした。金環日食は、日光が少しだけ陰る程度ですが、皆既日食では、ドラゴンボールを７個集めて神龍を呼び出す時のように、急激に空が暗くなります。次に日本で皆既日食が見られるのは２０３５年です。やっぱりこの夏はスペインに行きたかった…。

月は１年間に３～４cmずつ地球から遠ざかっています。昔はもっと月は地球に近くて大きく見えていたということです。月が大きかった時代の日食は、月が太陽を完全に隠してしまうので金環日食にはなりません。逆に今後、月が地球から離れて見かけの大きさが小さくなると、太陽をすっぽり隠すことができなくなり、皆既日食という現象は永遠に起こらなくなります。長い長い地球の歴史の中で、今は皆既日食と金環日食の両方が見える特別な時代なのです。特別といっても、あと数億年は両方見れますが…。

月が地球から遠ざかるのもハワイが日本に近づくのも、ほんの少しずつですが確実に変化しています。子どもの成長も、日々の変化は気づかないくらい僅かでも確実に成長しています。忍者の修行のように日々のほんの少しの努力を重ねていくことによって、将来、飛躍的に成長を遂げることもありますね。

来週７日（月）から５年生は４泊５日で自然学校に行ってきます。４日間も家を離れる経験は、子どもにとっても親にとっても初めてという方も多いでしょう。それだけに大きな成長が期待できる機会でもあります。子どもというのは、しばらく会わないうちにぐーんと成長することがあります。４、５日でそんなに変わるわけないと思われるかも知れませんが、出発前と帰校後では明らかに表情や態度が違います。ただ、普段の生活に戻ると成長も元に戻ってしまうことはよくあることですが…。子どもの成長を楽しみにしましょう。

少しずつ　俺の小遣い　減ってない？



（校長　河合　康一）